

広報 箕輪町のすがた 11 2009 No.35

“箕輪の今”を毎月お届けします。

今月は「箕輪町運動あそびサミット」と運動あそびの成果についてご紹介します。

次回の箕輪町のすがたは12月26日(土)掲載予定です。

運動あそびサミットを開催

運動あそびの必要性和5年間の成果

町では、ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業の一環として、平成16年度から町内の保育園と小学校で「運動あそび」を他の自治体に先駆けて導入し、取り組んできました。

運動あそびの取り組みも6年目を迎え、その成果と必要性を発信するため、今年10月3日に「箕輪町運動あそびサミット」を開催しました。

「運動あそび」の必要性

運動あそびとは、県松本短期大学の柳澤秋孝教授が考案された「柳沢運動プログラム®」を基に、子どもたちに運動の楽しさを教える取り組みです。

前頭葉の発達には、0歳～8歳の運動が重要といわれ、「柳沢運動プログラム®」では、鉄棒の逆上がり、跳び箱、側転、連続縄跳びなどを最終目標に、子どもたちの発達段階にあわせ、遊びの中で必要な力を身につけていきます。この取り組みによって子どもたちが自然と自ら体を動かすようになり、また、落ち着きや集中力が認められるといった成果も現れています。

箕輪町運動あそびサミット

このほど開催した「運動あそびサミット」では、これまで5年間にわたり取り組んできた運動あそびの成果を発表するとともに、柳澤教授による講演会「環境の変化と子どもの成長」やパネルディスカッション、親子参加の運動あそび体験などを実施しました。

パネルディスカッションでは、箕輪町とともに先駆的に「運動あそび」に取り組んでいる兵庫県豊岡市の中貝宗治市長と南箕輪村の唐木一直村長を迎え、箕輪町長を含む教育関係者が「今、子どもの脳に必要な運動あそび～3市町村から全国の自治体へ～」と題し、討議が繰り広げられました。

また「親子ふれあい運動あそび」では、2歳～8歳児の親子150組300人が参加し、柳澤教授による指導のもと、運動あそびを楽しみました。



「親子ふれあい運動あそび」の指導をする柳澤教授



パネルディスカッション

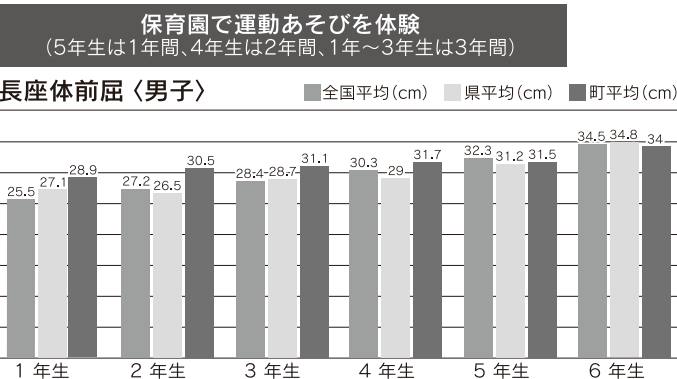
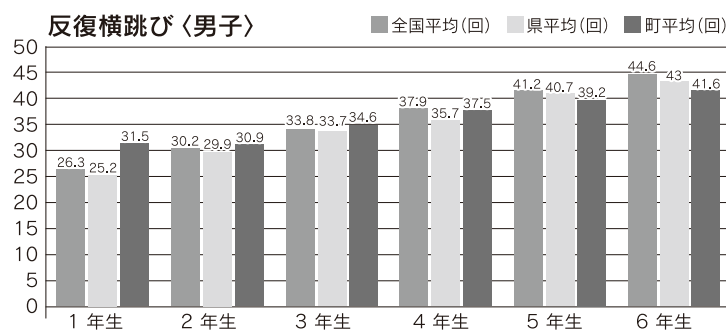


「親子ふれあい運動あそび」の様子



「運動あそび」から見えてきた5年間の成果

運動あそび導入後の小学生の体力



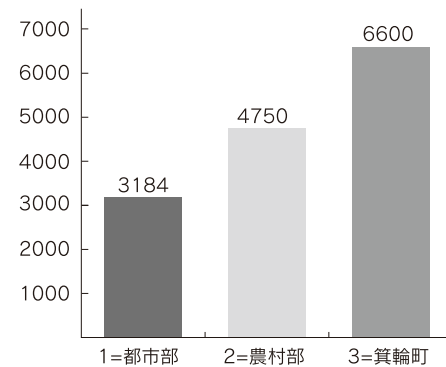
保育園で運動あそびを体験
(5年生は1年間、4年生は2年間、1年～3年生は3年間)

・運動あそびの体験年数が長い低学年ほど、全国・県平均を上回っている。
・体験年数が短い高学年では、全国・県平均を下回るところも見られる。

運動あそび導入後の保育園児の活動量

保育園児の一日の活動量は、1980年頃が約12000歩、2000年に約6000歩まで落ち込み、現在では約4000歩と言われています。サンプルの都市部・農村部においてもこの事が裏付けられますが、「運動あそび」を意図的に取り入れ、体を動かす習慣を身につけた箕輪町の園児は約1.5倍ほどの活動量が確保できています。

保育園年長児一日(AM9:00~PM4:00)の平均歩数



1⇒都市部の保育園(測定日H20年8月・2日間48名の平均値)
2⇒農村部の保育園(測定日H19年11月・2日間14名の平均値)
3⇒箕輪町の保育園(測定日H21年6月・5日間26名の平均値)

町では、今後も子どもたちの「運動あそび」を積極的に支援し、「ひと味ちがう箕輪の子ども」育成事業の更なる充実を図っていきます。



箕輪町

町ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/>

E-メールアドレス
minowa@town.minowa.nagano.jp

携帯電話用ホームページ
<http://www.town.minowa.nagano.jp/mobile/>

町からのお知らせや身近な話題など…

ぜひご覧ください。

○「MINOWAもみじチャンネル」

- ICT箕輪専用チャンネル(放送日/毎週月～金曜日(祝日除く))
アナログ 29ch・デジタル 512ch
- ICT1チャンネル(放送日/毎週土～月曜日)

※この紙面に関するお問い合わせは
総務課 総務広報係まで
電話 0265-79-3111(内線107)
FAX 0265-79-0230
E-mail kouhou@town.minowa.nagano.jp